

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	新人職員や経験によってケアの差が出てしまい、統一したケアに繋がっていない。そのため、チームで補い高め合える仕組みと全体の底上げが必要である。	スタッフは認知症ケアの専門職であるという自覚を持ち、ご利用者様の自立支援のケアを実践する。また生き生きと過ごして頂けるような支援を徹底し、ご利用者様やご家族様が主体的かつ安心できる環境の向上を図る。	自らが行うケアに根拠を持ち、なぜそうしたのかと確認をしながら取り組む。また月に一度のミーティングでケアの根拠を振り返りつつ、生き活きに繋がるケアが出来ているか話し合う。	12ヶ月
2	2	以前から続けてきた地域交流の場として、いどばた会やうた声喫茶を行っているが、より地域に根差した取り組みを増やせていない。	近所の保育園との交流機会を作り、より開かれた環境を作る。お互いに気軽に行き来できるような関係性を築き、新しい地域交流を始める。	コロナウイルスが終息次第、近所の保育園との交流機会を作り、より開かれた環境を作る。お互いに気軽に行き来できるような関係性を築き、新しい地域交流を始める。	12ヶ月
3	35	防災訓練等実施しているが、前年度は新型コロナウイルスの関係で最低限の取り組みになっていた。	コロナ禍においても取り組める防災訓練を行う。また、コロナ終息後には2ヶ月に1度の避難訓練を再開し、年に1度の消火訓練を実施する。	ホームにおいて水害、火災等の図上訓練を行う。また、コロナ終息後には、自主的な避難訓練と消防署と連携し取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。